

大豆技術情報 第2号

令和3年6月
富山市農業協同組合
富山農林振興センター

- **確実な培土の実施、溝の連結等の排水対策を徹底し、初期生育を確保しましょう！**
- 培土後、発生している雑草の種類を確認し、除草剤を適切に使用しましょう！

培土

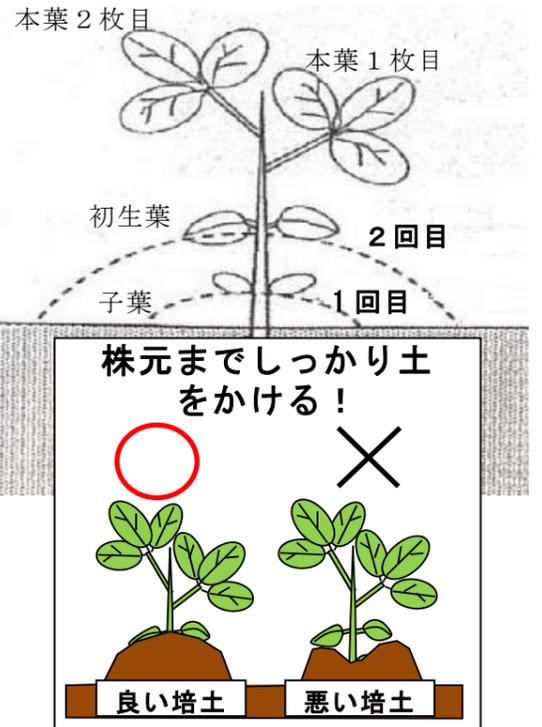
○ 2回の培土を確実に行い、雑草の発生を抑えましょう。

表1 培土の時期と高さ(右図参照)

	時期	高さ
1回目	本葉2~3葉期 (播種後 20~25 日頃)	子葉が埋まる程度
2回目	本葉4~5葉期 (播種後 30~35 日頃)	初生葉が埋まる程度



1回目培土時の大豆(本葉2葉期)



○ 培土作業と排水対策のポイント

- ◆ 培土作業は、乾いているほ場から、晴れ間を見て実施しましょう
- ◆ 作業前に、培土板の調節や耕うん爪を必ず点検(擦り減った爪は交換)しましょう
- ◆ 適正な作業速度で、株元にしっかり土をかけましょう
- ◆ 培土でできた溝は額縁排水溝や排水口にしっかり連結し、排水が速やかに行えるようにしましょう

雑草防除

○ 雑草の種類を確認し、雑草に薬剤が十分かかるように散布しましょう。

表2 草種別除草剤

対象雑草名	薬剤名	使用時期	使用方法	10a当たり散布量	本剤使用回数
1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)	ポルトフロアブル	イネ科雑草3~10葉期 但し、収穫30日前まで	雑草茎葉 散布又は 全面散布	薬量 200~300ml (水 50~100ℓで希釈)	1回
1年生広葉雑草 (イネ科を除く)	大豆バサグラン液剤	大豆2葉期~開花前 (雑草生育初期~6葉期) 但し、収穫45日前まで		薬量 100~150ml (水 100ℓで希釈)	
1年生雑草		バスタ液剤 (非選択制除草剤)	大豆の生育期 (雑草生育初期~6葉期) 但し、収穫45日前まで	畦間雑草 茎葉散布	薬量 300~500ml (水 100ℓで希釈)
	ロロックス (非選択制除草剤)	本葉5葉期以降、雑草生育期 但し、収穫28日前まで	畦間・株間 処理	薬量 100~200g (水 70~150ℓで希釈)	

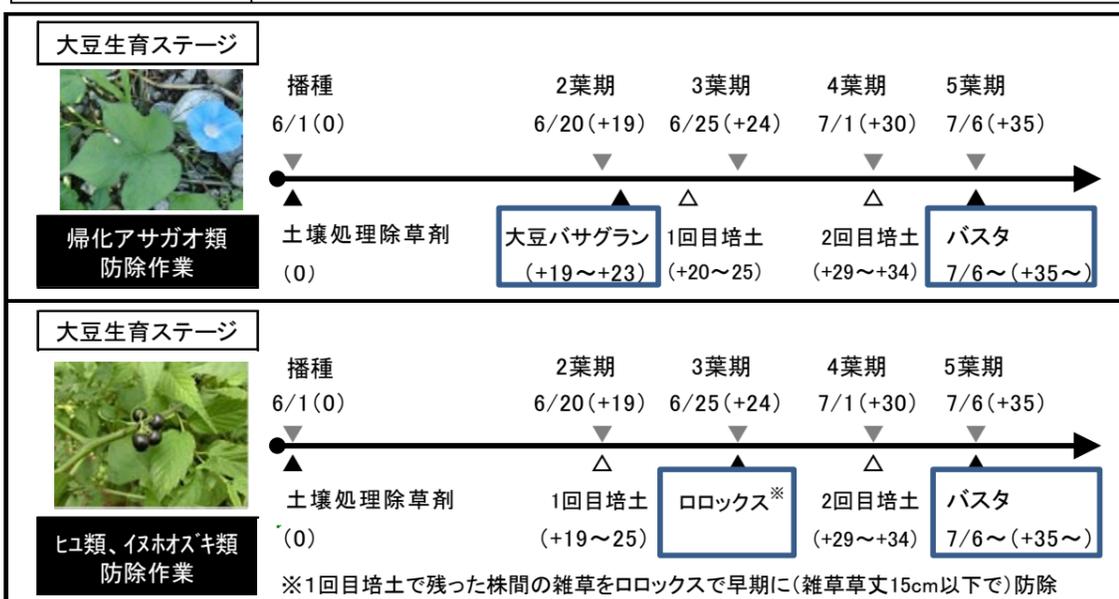
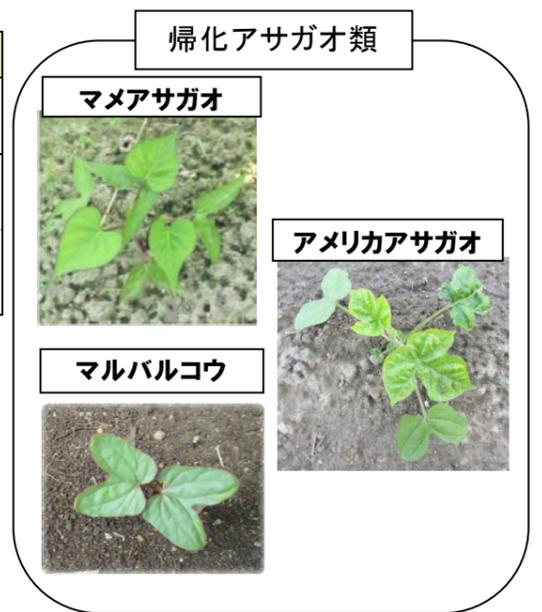
※周辺の作物に飛散しないよう注意

難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止対策

○ 難防除雑草(帰化雑草等)の発生がみられるほ場では、ほ場内で生育が進むと防除が困難になるため、**雑草が小さいうちに防除を徹底しましょう！**

表3 難防除雑草(帰化雑草等)の大豆ほ場へのまん延防止対策

対策	作業・管理内容
ほ場に入れない	・ほ場周辺域で発生がみられたら、手取り除草又はバスタ液剤を散布する ・刈り払う場合は、再生防止のために地際から行う
種子を増やさない	・結実前に手取り除草またはバスタ液剤を散布する ・刈り払う場合は、再生防止のために地際から行う ＜雑草種子が結実した場合＞ ・刈り取った株は放置せず、ほ場外で適切に処分する



令和3年度 富山県農薬危害防止運動
(6/15~9/14)